

平成28年 2月24日
松山河川国道事務所防災課

災害支援活動のプロフェッショナルを養成！

～無線操縦式バックホウの操作講習会を行います～

土砂災害等の復旧支援活動を行う人材育成とスキルアップを目的として、無線操縦式バックホウの操作講習会を下記のとおり実施します。

○無線操縦式バックホウとは、土砂災害等の復旧作業における二次災害防止のために開発された建設機械です。(四国技術事務所保有)

・実施年月日

平成28年3月1日(火) 13:30～16:30
3月2日(水) 9:00～16:30
3月3日(木) 9:00～12:00

・実施場所

東温市上村地先 重信川河川敷(上村大橋南端)
詳細は、〈資料-1〉を参照下さい。

・受講対象者

土木建設業者 機械オペレーターの方 12名
(見学は一般の方でも可能です)
講習会終了後、技能判定に合格された方には修了証を交付します。

・講習対象機械

・無線操縦式バックホウ(無線操縦式油圧ショベル)
災害現場を想定し、「対策本部車」内で操作を行います。
詳細は、〈資料-2〉を参照下さい。

・その他

講習会の概要については、〈資料-3〉を参照下さい。
3月1日のみ上記時間で取材可能です。現地へお越しください。
小雨決行。ただし、大雨・大雪等の場合は中止します。
※ バックホウの詳細については下記ホームページをご覧ください。
<http://www.skr.mlit.go.jp/yongi/duties/center/center-f.html>

本施策は、四国圏広域地方計画「No. 6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先： 四国地方整備局松山河川国道事務所

副所長(河川)： 松下 越夫 (内線：204)
◎ 防災課長： 傍士 雅仁 (内線：281)
代表 089-972-0034
直通 089-972-7289
FAX 089-972-0004

無線操縦式バックホウの操作講習会位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を複製したものである。

(承認番号 平24四複、第68号)

拡大図は、国土地理院撮影の航空写真(2010年撮影)

無線操縦式バックホウ（無線操縦式油圧ショベル）〔四国地方整備局保有〕

機械外観



目的

台風、大雨、地震などによる災害発生時の復旧作業において、オペレータの二次災害防止を目的とした無線操縦式バックホウを保有しています。

特徴

通信距離：最大300m

電波区分：特定小電力無線
(免許不要)

操縦性能：搭乗操作と同等
(複数同時動作可)

安全対策：誤作動防止・緊急
停止・運転状態表示



送信機

主要諸元

形式：後方超小旋回型バックホウ
 バケット容量：山積0.45m³
 運転質量：約13,000kg
 全長：7,220mm（輸送時）
 全幅：2,490mm
 全高：3,050mm
 燃料・タンク容量：軽油・200L
 操縦方法：無線操縦及び搭乗運転

対策本部車

（今回の講習では、操作場所として使用します。）



災害発生時の復旧作業において、現地本部となる車両です。走行時から車両幅が約2倍に広がり、車内で会議や待機を行うことができます。また、宿泊や食事することも可能です。

無線操縦式バックホウの操作講習会概要(松山河川国道事務所管内では初開催!)

災害現場で活躍する無線操縦式バックホウ

安全な場所から復旧作業ができるから、二次災害の防止につながる!



無線操縦できる人が
まだ少ないのが課題

そこで無線操縦オペレータ養成講習を開催!!

実施内容：無線操縦式バックホウの操縦技能修得

- ・操縦訓練：無線操縦による走行・掘削・積込等
- ・習熟度評価：講習の初めと終わりに指定コースの走行・作業を行い、その時間及び操作精度等を評価し、習熟の度合いを判定

技能修得者：講習修了証を交付

(共催：(一社)日本建設機械施工協会四国支部)

受講対象者：東予・中予地方の建設業者等の機械オペレータ

受講人数：3日間で12名を予定

累計受講者数：H27.10までに200名以上が受講

過去の講習状況(高松市の四国技術事務所構内にて実施)

ラジコン式建設機械の知識修得



テキストでの座学の様子

無線操縦の技能修得及び練習



無線での操作練習の様子

指定コースの無線操縦



コース走行・掘削の様子